

2022 年度入学試験問題

選 択(日本史, 世界史, 政治・経済, 数学)

(60分)

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. この問題冊子は 47 ページあります。試験中、ページの脱落等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
解答用紙(マークシート)の汚れなどに気づいた場合も、同様に知らせてください。
3. 解答用紙(マークシート)は折り曲げたり、汚したりしないでください。
4. 数学を解答するものは、解答上の注意が裏表紙に記載してあるので、この問題冊子を裏返して必ず読んでください。ただし、問題冊子を開いてはいけません。
5. 解答は、すべて解答用紙(マークシート、数学とその他の科目は解答用紙が異なります)に記入し、解答用紙(マークシート)の枠外には、なにも書かないでください。
6. 下記の選択科目のうちから 1 科目を選択して解答してください。解答用紙にマークする際にも注意してください。(※数学とその他の科目は解答用紙が異なります)

選択科目	ページ	試験問題
日本史	1 ページ～15 ページ	問 1～問 40
世界史	16 ページ～31 ページ	問 1～問 40
政治・経済	32 ページ～44 ページ	問 1～問 40
数学	45 ページ～47 ページ	ア～ヌ

7. マークは必ず HB の黒鉛筆を使用し、訂正する場合は、完全に消してからマークしてください。
8. 監督者の指示に従って、解答用紙(マークシート)に解答する科目、受験番号をマークするとともに、受験番号および氏名を記入してください。
9. 解答する科目、受験番号、解答が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
10. 筆記用具以外は、使用しないでください。
11. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

日本史

(60分)

注意事項

1. 試験問題は、問1～問40まであります。

解答用紙(マークシート)には、問題番号が1～50、選択肢が①～⑩まで印刷されていますが、解答にあたっては、問1～問40までの各設問に指示された選択肢の数の中から選んで解答してください。

2. 解答する科目、受験番号、解答が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

問題 I

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

足利尊氏は京都を制圧してから持明院統の(1)天皇を擁立した。そして、建武式目⁽²⁾を制定して当面の政治方針とした。後醍醐天皇⁽³⁾が吉野を拠点とした南朝⁽⁴⁾と、京都の北朝が並立し、対立することとなった。いわゆる南北朝の動乱の始まりである。その後、両統が並立する状況がおよそ60年も続いた。尊氏は(5)年に征夷大將軍に任命されたが、幕府内の政務を弟の直義と分割し、いわゆる二頭政治を行った。政務を一極化しなかったことが、後に幕府内を二分することとなり、さらには全国的規模の観応の擾乱に至った。

足利氏による政権が全国的支配体制を確立するのは義満⁽⁶⁾の治世下においてである。義満は南朝の後亀山天皇を説得し、天皇を北朝の(7)天皇に一本化して南北朝の合一を実現した。さらに、それまで朝廷側が有していた京都の警察権・民事裁判権や、土倉・酒屋に課した商業課税権、諸国に課した段銭⁽⁸⁾の徴収権を、幕府の手中におさめた。義満の頃に安定したこの幕府は、義満の邸宅⁽⁹⁾の場所に由来して室町幕府と呼ばれる。

次に室町幕府の職制についてみてみよう。征夷大將軍は足利氏が世襲した。將軍を補佐するのは管領である。管領は、細川・斯波・(10)の3氏が交代で就任した。京都の警備や刑事裁判を担当する侍所の長官は、赤松・一色・山名・(11)の4氏から任命された。地方の機関としては、東国の支配を担当する鎌倉府⁽¹²⁾がある。この長官が鎌倉公方⁽¹³⁾である。その他の地方官としては九州探題⁽¹⁴⁾・奥州探題・(15)探題などがある。

問 1 文中の空欄(1)に最も適切な天皇名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 光 厳 ② 後円融 ③ 光 明 ④ 後伏見 ⑤ 後光厳

問 2 文中の下線(2)について誤っている文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 建武とは、制定時の年号である。
- ② 冒頭で幕府の所在地をどこにするかということについてふれている。
- ③ 制定に関係した人物の1人に中原章賢がいる。
- ④ この法が制定されたので、御成敗式目は用いられなくなった。
- ⑤ 足利尊氏の諮問に対する答申をまとめたものである。

問 3 文中の下線(3)について誤っている文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 父は後宇多天皇である。
- ② 鎌倉幕府討幕計画が失敗して、隠岐に流されたことがある。
- ③ 文保の和談により、翌年天皇に即位した。
- ④ 醍醐天皇や村上天皇の親政を理想とした。
- ⑤ 地方の機関として、雑訴決断所を設置した。

問 4 文中の下線(4)の味方ではない人名を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 楠木正成 ② 高師直 ③ 北畠親房
- ④ 護良親王 ⑤ 新田義貞

問 5 文中の空欄(5)に最も適切な年を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 1334 ② 1336 ③ 1338 ④ 1340 ⑤ 1342

問 6 文中の下線(6)について誤っている文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 後に、朝廷から太政大臣に任命された。
- ② 妻を天皇の准母にして、朝廷との結びつきを深めた。
- ③ 実は足利尊氏の曾孫である。
- ④ 義満が建てた山荘の舍利殿が、現在の金閣である。
- ⑤ 法名を鹿苑院という。

問 7 文中の空欄(7)に最も適切な天皇名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 後小松 ② 花園 ③ 後村上 ④ 長慶 ⑤ 崇光

問 8 文中の下線(8)について誤っている文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 田地1段ごとに課した税である。
② 将軍拝賀など幕府の諸行事の費用になった。
③ 内裏造営など朝廷の諸行事の費用になった。
④ 伊勢神宮をはじめ寺社の修造や法会の費用になった。
⑤ 幕府が必ず国人に徴収を依頼した。

問 9 文中の下線(9)について誤っている文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① この邸宅は1378年に完成した。
② 室町通りに面していたので、室町殿とも称された。
③ 別称、花の御所の由来は、多種類の名花が植えられていたことによる。
④ この邸宅で政治を行った。
⑤ 9代将軍義尚の頃、火災で焼失した。

問10 文中の空欄(10)に最も適切な氏名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 京極 ② 土岐 ③ 畠山 ④ 大内 ⑤ 島津

問11 文中の空欄(11)に最も適切な氏名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 京極 ② 土岐 ③ 畠山 ④ 大内 ⑤ 島津

問12 文中の下線(12)について誤っている文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 鎌倉府の管轄は、当初は関東8カ国と伊豆国・甲斐国である。
② 鎌倉府管内の守護は、鎌倉に在住して鎌倉府に出仕した。
③ 別名を関東府という。
④ 鎌倉府の権限は小さく、常に幕府に従順であった。
⑤ 陸奥国と出羽国を管轄した時期もある。

問13 文中の下線(13)について誤っている文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 別名を関東公方という。
- ② 鎌倉公方は足利氏と上杉氏が交代でつとめた。
- ③ 足利基氏もつとめたことがある。
- ④ 鎌倉公方の補佐役を関東管領という。
- ⑤ 起源は、足利尊氏が嫡子の義詮を鎌倉に留め、鎌倉御所と呼んだことである。

問14 文中の下線(14)について誤っている文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 別名を鎮西探題という。
- ② 起源は、1336年に足利尊氏が一色範氏を任命したことである。
- ③ 南朝勢力の討伐も任務である。
- ④ 1371年に今川貞世がつとめて以降、幕府による九州支配が確立した。
- ⑤ 足利義満も若き日につとめたことがある。

問15 文中の空欄(15)に最も適切な地域名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 羽州 ② 遠州 ③ 摂州 ④ 山州 ⑤ 相州

問題Ⅱ

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

天保年間には幕府の体制が国内・国外共にゆらいだ、いわば内憂外患の時代であった。天保3年から4年は凶作で厳しい飢饉がおき、百姓一揆や打ちこわしが頻発した。しかし、幕府や藩は適切な対策を施せなかった。同7年におきた飢饉はとりわけ過酷で、甲斐国の郡内騒動や三河国の加茂一揆など、それぞれ1万人を超える大一揆がおきた。この2つの大一揆は、共に(16)領の領民によるものである。

経済の中心地である大坂も飢饉の影響を受けて、多くの餓死者がでた。しかし、大坂町奉行は生活に困窮する人々を救済する策をとらずにいた。この状況下で、かつて大坂町奉行所の(17)をつとめていた大塩平八郎が、天保8年、すなわち(18)年に武装蜂起を決行した。大塩は(19)学者であり、私物の蔵書を売却して660両余りを得て貧窮民に分け与え、民衆を率いて蜂起したのである。この騒動は半日で鎮圧されたが、大塩が元は大坂町奉行所につとめていた武士であったため、幕府や諸藩は衝撃を受けた。大塩の事件は広く伝わり、大塩門弟と称する生田万が越後国(20)で陣屋を襲撃した。

対外関係における動揺の一例としては、天保8年におきた(21)の商船モリソン号に関する事件がある。モリソン号は浦賀沖に接近して、日本人漂流民の返還、および交易をはかろうとしていた。しかし、来航目的を知らなかった幕府は(22)年に制定した異国船打払令を適用し、モリソン号を砲撃して退去させた。この事件を契機として天保9年に渡辺崋山は『慎機論』、高野長英は『戊戌夢物語』に幕府の対外政策に対する批判をしたためた。⁽²³⁾⁽²⁴⁾⁽²⁵⁾翌10年に蛮社の獄がおこり、2人は幕府批判を咎められ、渡辺は永蟄居の後、自刃、高野は永牢に処せられたが牢屋の火災に紛れて逃亡、潜伏したが後に捕吏にふみこまれて自殺した。

問16 文中の空欄(16)に最も適切な名称を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 旗本 ② 公家 ③ 幕府 ④ 大名 ⑤ 寺社

問17 文中の空欄(17)に最も適切な職名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 町奉行 ② 同心 ③ 与力 ④ 手代 ⑤ 右筆

問18 文中の空欄(18)に最も適切な年を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 1831 ② 1833 ③ 1835 ④ 1837 ⑤ 1839

問19 文中の空欄(19)に最も適切な名称を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 朱子 ② 陽明 ③ 医 ④ 国 ⑤ 蘭

問20 文中の空欄(20)に最も適切な地名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 柏崎 ② 長岡 ③ 三条 ④ 直江津 ⑤ 小千谷

問21 文中の空欄(21)に最も適切な国名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① フランス ② アメリカ ③ ロシア
④ オランダ ⑤ イギリス

問22 文中の空欄(22)に最も適切な年を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 1817 ② 1819 ③ 1821 ④ 1823 ⑤ 1825

問23 文中の下線(23)について誤っている文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 庶民を描いた『一掃百態』は渡辺の作である。
② 渡辺の師の1人は谷文晁である。
③ 古河藩の家老をつとめた鷹見泉石の肖像画を描いた。
④ 三河国田原藩の家臣である。
⑤ 医学にも優れ、将軍の侍医をつとめた。

問24 文中の下線(24)について正しい文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 1835年に執筆を開始した。
- ② モリソン号の建造の歴史から説きおこした著作である。
- ③ 出版されず、未定稿であった。
- ④ 渡辺の他、数名からなる共著である。
- ⑤ 渡辺が35歳の時に執筆した。

問25 文中の下線(25)について誤っている文を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 出身は陸奥国水沢である。
- ② 長崎で蘭学や医学を学んだ。
- ③ 尚齒会に出席したことがある。
- ④ シーボルトに師事したことがある。
- ⑤ 幕府の儒者をつとめた。

次ページ以降にも問題があります。

問題Ⅲ

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

明治維新による新政府は、版籍奉還、廃藩置県を経て財政の改革に着手し、1873年から1881年にかけて地租改正を進めた。課税の基準を(26)に変更し金納化を実現して地券の所有者を納税者とした。財源の安定化は近代的な軍事力の整備と共に殖産興業政策の展開を可能とした。1870年に設立された(27)は、近代産業の移植を試みたものの、財源がいまだ不安定だったこともあり、鉄道や鉱山の官営事業を進めるにとどまった。しかし、1873年以降、(28)を管掌した内務省によって、農業の近代化を含めた勸業政策が進められ、繊維産業などの官営模範工場も積極的に経営され始めた。

ただし、貨幣制度の安定化はなかなか進まなかった。1872年に国立銀行条例を制定し(29)の発行を試みたものの、普及には限界があった。それでも、(30)の一員であった渋沢栄一によって第一国立銀行が設立され、後の銀行業の基礎が提供され始めた。また、殖産興業政策に伴い政商と呼ばれた民間の事業者が登場した。

殖産興業政策は、西洋の産業技術のみならず社会制度の導入を試みたものでもあったから、国民生活を文明開化と呼ばれる新しい風潮に染める影響も及ぼした。自由主義・個人主義などの西洋近代思想が流行し、(32)らの著書がよく読まれた。

もっとも、新政府は西洋にならい近代化を推進する一方で、ある種の復古的な方向性を示す二面性ももっていた。たとえば、祭政一致の立場から(33)を1868年に制定し、宗教界に大きな変動を引き起こした。ただし、キリスト教は次第に黙認されていった。

問26 文中の空欄(26)に最も適切な言葉を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 所得 ② 土地 ③ 地価 ④ 知行権 ⑤ 地種

問27 文中の空欄(27)に最も適切な省を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 通信省 ② 農商務省 ③ 大蔵省
④ 工部省 ⑤ 商工省

問28 文中の空欄(28)に最も適切な組み合わせを選び、その番号をマークしなさい。

- ① 鉱業・牧畜・製糸・紡績 ② 勸農・工業・製糸・紡績
③ 勸農・牧畜・製糸・紡績 ④ 勸農・鉱業・製糸・紡績
⑤ 勸農・牧畜・製糸・鉄道

問29 文中の空欄(29)に最も適切な用語を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 兌換銀行券 ② 不換紙幣 ③ 太政官札
④ 日本銀行券 ⑤ 民部省札

問30 文中の空欄(30)に最も適切な機関を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 三井銀行 ② 大蔵省 ③ 三菱銀行
④ 司法省 ⑤ 日本銀行

問31 文中の下線(31)にあてはまらない人名を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 三井高喜 ② 五代友厚 ③ 安田善次郎
④ 岩倉具視 ⑤ 岩崎弥太郎

問32 文中の空欄(32)に最も適切な人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① ヘボンやフルベッキ ② スマイルズやクラーク
③ ミルやスペンサー ④ ルソーやボアソナード
⑤ ダーウィンやジェーンズ

問33 文中の空欄(33)に最も適切な用語を選び, その番号をマークしなさい。

- ① 五榜の掲示 ② 王政復古の大号令 ③ 五箇条の誓文
④ 一世一元の制 ⑤ 神仏分離令

次ページ以降にも問題があります。

問題Ⅳ

次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

第一次世界大戦期の好況を経て1920年恐慌に直面した日本経済は、不況色を強めながらも電力や運輸といった産業が成長したこともあって都市化がより一層進み、一方で大企業と中小企業、都市と農村との間の格差が顕在化しており、これは(34)と呼ばれた。東京や大阪などの大都市では、会社員、銀行員、公務員といった(35)が現れ、タイピストや電話交換手などの仕事に従事する(36)もみられるようになった。新聞、雑誌、ラジオ、映画などのマス＝メディアが発達して大衆文化が誕生し、娯楽雑誌『キング』の発行部数は(37)万部をこえた。また、大正デモクラシーの風潮のもとで多様な学問や芸術が発達し、知識人にはマルクス主義が大きな影響を与えた。第一次世界大戦期の1917年に出版された(38)の『貧乏物語』は広範な読者を獲得した。大正期の文学は、人道主義・理想主義を掲げた雑誌『白樺』を中心に、都会的感覚と西欧的教養を身につけたといわれる有島武郎、志賀直哉、武者小路実篤らの白樺派が活躍したほか、永井荷風、谷崎潤一郎らの耽美派、芥川龍之介、菊池寛らの新思潮派がそれぞれすぐれた作品を残した。

問34 文中の空欄(34)に最も適切な用語を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 格差社会
- ② 二重構造
- ③ 地主小作関係
- ④ 農業恐慌
- ⑤ 格差構造

問35 文中の空欄(35)に最も適切な言葉を選び、その番号をマークしなさい。

- ① モダンボーイ
- ② 職業婦人
- ③ モダンガール
- ④ 勤労学生
- ⑤ 俸給生活者

問36 文中の空欄(36)に最も適切な言葉を選び、その番号をマークしなさい。

- ① モダンボーイ
- ② 職業婦人
- ③ モダンガール
- ④ 勤労学生
- ⑤ 俸給生活者

問37 文中の空欄(37)に最も適切な数を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 20 ② 40 ③ 60 ④ 80 ⑤ 100

問38 文中の空欄(38)に最も適切な人名を選び、その番号をマークしなさい。

- ① 西田幾多郎 ② 和辻哲郎 ③ 津田左右吉
④ 柳田国男 ⑤ 河上肇

問39 文中の下線(39)の作家らが執筆したものではない作品名を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 『阿部一族』 ② 『友情』 ③ 『カインの末裔』
④ 『その妹』 ⑤ 『城の崎にて』

問40 文中の下線(40)の作家らが執筆したものではない作品名を1つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 『あめりか物語』 ② 『痴人の愛』 ③ 『腕くらべ』
④ 『和解』 ⑤ 『細雪』